

令和4年1月6日

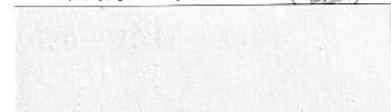
北上市議会議長 様

陳情者 住 所 北上市相去町平林21-21

氏 名 白鳥 顕志



電話番号



コロナ用ワクチンの3回目の接種券配布の見送りと新型コロナとmRNAワクチン（治験薬）に関する多くの情報を北上市民に伝えることなど ~~(1)~~ ~~(6)~~ についての陳情書

1 陳情の趣旨（理由）

mRNAワクチン（治験薬）の集団接種開始されたのが令和3年2月です。それ以降、厚労省の人口動態調査で、3月・4月・5月・6月・7月・8月・9月と全国の1か月あたりの死亡者数が、毎月最高新記録を継続しております。7か月も連続です。これは異常な事態と考えざるを得ません。たまたま偶然と考えるには無理があります。2020年もコロナで大騒ぎしておりました。2020年と2021年の違いは「ワクチン接種」です。

かつ、コロナによる30代以下～若年層の死者数は限りなく0%ですが、ワクチン接種後の若年層の死者数は多くの事例が出ております。

死者数が多いということは、重篤者数、期間があいたあとの死者数も増えると考えられます。

そのような異常なデータがある中で、「北上市民の命」「北上市民の若い世代の将来」を考えて、人類初の治験薬（mRNAワクチン）について、市が積極的に促すような接種券の配布は中止して、希望者のみ市役所に取りに来るスタイルに変更していただきたいのです。3回目の接種券が配布される前に急ぎ議論をお願いいたします。

「配布」＝「市が推奨」という印象を与えてしまいます。

そして、コロナやワクチンについて、調べた情報の「良い点」も「リスク」も「北上市の会報誌」や「ワクチン接種券を受け取る市民」・「各学校に配布する資料」などで広く知らせていただきたいのです。

また、情報が錯綜している中、北上市として認識を共有するために、「コロナウイルス関係」「PCR検査」などに関して、国立感染症研究所や厚生労働省、各メディアに、疑問点について正式回答を取得して市民に伝えていただきたいのです。

「陳情内容」と「陳情事項の詳細資料」を別紙にまとめます。



2 陳情内容

(1) 北上市にコロナ用ワクチンの3回目の接種券配布を見送り、希望者のみ市役所に取りに来る方法にしてもらう(配布前に急ぎ議論お願いします)。

(2) 北上市が新型コロナとmRNAワクチン(治験薬)に関して知りうる情報(特にワクチンのリスク)を北上市民に伝えること。

(3) 北上市として、国立感染症研究所に「新型コロナの存在証明」と「遺伝子情報」の開示請求をすること。

(4) 北上市として、国立感染症研究所に「オミクロン株の存在証明」と「遺伝子情報」の開示請求をすること。

(5) 北上市として 国立感染症研究所と厚生労働省に「PCRの検査陽性＝コロナ感染」と断定する科学的根拠の開示請求をすること。

(6) 北上市として、NHK・日本テレビ・TBS・朝日放送・フジテレビに、「PCR陽性＝コロナ感染・オミクロン株感染」と報道していることの科学的根拠を明示してもらうこと。

以上

令和4年1月6日 提出者 北上市相去町平林21-21 白鳥 顕志

北上市市議会議長 八重樫 七郎 様